

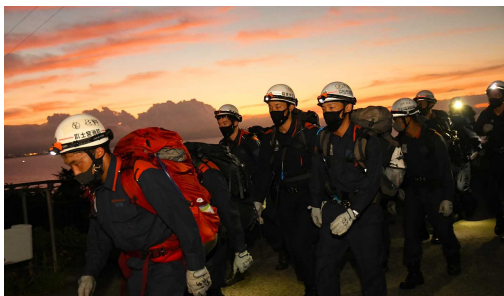
初任科第 93 期 不撓不屈

静岡県消防学校 初任科だより vol. 5

～ 第 2 回野外訓練 ～

令和 4 年 8 月 10 日 (水)・11 日 (木)、私たち初任科第 93 期生は、第 2 回野外訓練で富士マリンプールから静岡県消防学校までの夜間強歩訓練を実施しました。同年 5 月に実施した第 1 回野外訓練と同様、消防用ホース・飲料水・非常食等が入った約 20 kg のリュックを背負い、全行程約 30 km 完歩を目指し出発。夜 7 時から翌朝 6 時までの長時間の歩行は初めての経験であり、過酷なものでしたが、前回の野外訓練の反省から日々鍛えてきた体力と精神力を纏い、仲間と励まし合い、協力することで乗り越えることができました。

しかし、この訓練は完歩して終わりではありません。学校到着後、大規模災害の発生を想定した「土嚢作成及び搬送」・「要救助者搬送」・「要救助者の捜索及び救助」の訓練が始まりました。長時間にわたる夜間強歩訓練で残り少ない体力の中、人命救助のため懸命に活動するという使命感を胸に、最後まで訓練に臨むことができました。私たちはこの訓練で学んだことを今後を活かし、各自が思い描く理想の消防士像を目指し精一杯頑張ります。



野外訓練の様子①



野外訓練の様子②

～ 実科査閲 ～

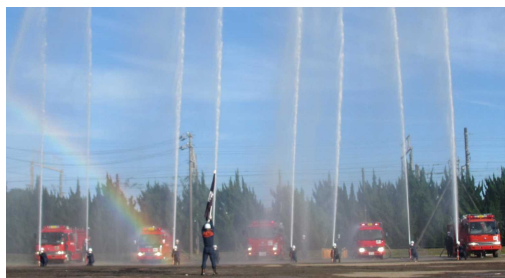
115 日間にわたる初任科教育も残りわずか。その集大成の場である実科査閲が 9 月 13 日 (火) に開催されました。終わりの見えないコロナ禍の中、県内各消防本部消防長をはじめとした来賓の方々、そしてこれまで支えてくれた家族を招待して開催できたことに心から感謝するとともに、初任科教育で学んだ全てをこの場で出し切ろうと私たちは強く決意しました。

強い精神力と節度、消防職員としての原点を学んだ「訓練礼式」。消防資機材の取り扱い・プロとしての精神を学んだ「機器取扱訓練」。火災から市民の生命・身体・財産を守るための「消防活動訓練」。火災性状を見極め、消火・救助の基本技術を応用した「消防活動応用訓練」。人命救助の最後の砦であり、最後まで諦めない救助隊精神を学んだ「救助訓練」。約半年間で習得した知識・技術を凝縮し、全力で披露しました。

そして、実科査閲の最後を飾る一斉放水は、初任科教育の終わりを告げるとともに、私たちの消防士としての新たな門出を祝うかのような非常に感慨深いものとなりました。



実科査閲の様子① (学生入場)



実科査閲の様子② (一斉放水)

発行日: 令和 4 年 9 月 27 日

発行元: 静岡県消防学校

制作: 静岡県消防学校 初任科第 93 期 文化委員

丸山 哲平(静岡)・早馬 武尊(磐田)